

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		企画業務費 [市長と語ろう会（タウンミーティング）事業]									
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 7	企画費	事業番号	1			
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	企画政策（企画課）			課	企画推進（企画担当）	担当	課長名	荒井 亮二			
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	行 - 3			
【施策名】 市民自治の向上							総合計画書（ページ）	127			
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）						
	市民				市民の数（4月1日現在の住民基本台帳人口）						
	→										
2 指標の推移	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）						
	市民と市長が市政運営に関して率直な意見交換を行うことにより、市民の市政に関する理解の促進を図る。				市民意識調査における「市民参画のまちづくりの推進」に関する市民満足度の割合						
	→										
3 経費	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）						
	①テーマ、開催時期、開催回数等について調整を図り、内容を決定した。 ②参加者を広く募集し、市長と語ろう会（タウンミーティング）を実施した。				①タウンミーティングのテーマ数 ②開催回数（単位：回） ③参加人数（単位：人）						
	→										
4 環境変化等			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標			
	対象指標	①の数値	人	85,266	85,294	85,086					
	成果指標	②の数値	%	11.3	9.3	8.2					
	目標	②の目標値	%	13.06	13.06	14.00	14.00	目標値設定の考え方 第四次基本計画の目標値（令和3年度14.00%）			
活動指標	③の数値	①個 ②回 ③人	①2 ②2 ③52	①1 ②1 ③9	①1 ②1 ③3						
3 経費	事業費（実績）		円	11,330	0	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値（退職手当組合負担金、共済費も含む。）				
	財源	一般財源	円	11,330	0	0					
		特定財源（国・都・他）	円	0	0	0					
		（うち受益者負担）	円	0	0	0					
	人件費（目安）	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1					
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0					
		職員人件費(再任用以外)	円	831,000	838,000	825,000					
職員人件費(再任用)	円	0	0	0							
事業費+人件費		円	842,330	838,000	825,000						
4 環境変化等	(1) 開始年度	平成23年度									
	(2) 環境の変化	市民と市長が市政運営に関して率直な意見交換を行い、市民の市政に関する理解の促進と市民に関われた市政運営の推進を図ることを目的に、平成23年度から「市長と語ろう会（タウンミーティング）」を開催している。 平成29年度からは、より多くの方にご参加いただくため、市が参加するイベントとの同時開催を行ったほか、令和2年度以降はコロナ禍においても屋外でのサイクリング形式（令和2年度）や、WEB形式（令和3年度）で開催するなど、実施内容の工夫を続けている。									

事業名称	企画業務費 [市長と語ろう会 (タウンミーティング) 事業]		
担当部署・課長名	企画政策 (企画課)	課 企画推進 (企画担当) 担当 O	課長名

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン会議形式で開催した。当日の説明用資料は、画面共有機能等を活用して市と参加者が共有できた方が、より理解しやすいといった意見があった。		
	6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)	
<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ		取組手法：③、⑥	
<input type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換 (広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他 ()		
7 課題	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 より多くの参加者に参加いただけるような仕組みやテーマを考える必要がある。		
	(1)令和3年度に課題とした内容(「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題 (3)を転記) 今後も、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じながら、幅広い世代の方々にご参加いただけるよう内容を工夫していく必要がある。		
8 施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)	施策名： 市民自治の向上		
	<input type="checkbox"/> なっている <input checked="" type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名()		
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など) <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 ・新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、市民と市長が市政運営に関して率直な意見交換を行うことができるよう、開催方法を工夫する必要がある。 ・より多くの人に参加してもらえよう、広報手段として、ポスター掲示、市報、ホームページのほか、ツイッターやフェイスブックを有効活用する。今後も幅広い世代の方々にご参加いただけるような内容を検討していく。		
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じた開催内容を検討する必要がある。また、広報については、広報担当部署である秘書広報課と連携を図り、迅速で効果的な広報を行う。		